再発防止対策報告書

中部支部

発生日時	２０２３年　９月　６日（水曜日）　１１時頃							天候	晴	
災害の程度	死亡　　名		負傷　１名		職種　電工		年令　３１才		経験年数　１１年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	【発生状況】災害名：吊金車回収作業の準備中に地線腕金が折損し、作業員が宙吊りとなり腰を負傷
	７：３０　現場事務所でＴＢＭ－ＫＹ
	人員配置等作業打合せ実施（監督者１名＋作業員２２名）
	８：００　現場事務所出発→各鉄塔へ
	９：１５頃　架空地線引き抜き開始
	１１：００頃　災害発生
	被災者は自力で降塔出来なかったため、他の作業員にて降ろした
	１３：００頃　被災者が地上に到着。工事車両にて岐阜市民病院へ搬送
	１４：２０頃　レントゲン結果、異常なし
	１５：５０頃　ＣＴ撮影結果、左仙骨骨折（３ヶ月の加療を要す）
	１６：１５頃　羽島警察署６名が到着
	１６：２０頃　岐阜労働基準監督署３名が到着
	１７：１５頃　警察および労基署の現場検証と聞き取り調査完了
原因及び対策	【原因】
	・請負会社では、作業時の荷重計算および発注者への鉄塔強度確認の実施について、
	社内統一されておらず現場責任者任せであった。
	・請負会社は、施工計画を変更する場合における、安全・品質維持の重要性について
	現場責任者に理解させていなかった。
	【対策】
	・請負会社は、施工安全計画書へ反映すべき事項の漏れの防止を図るため、
	施工安全計画書作成のチェックポイントならびに設備強度関係のチェック項目を用いて、
	現場責任者に施工安全計画書を作成させる。
	また、作業時の荷重計算結果を用いて、発注者へ鉄塔強度確認することを徹底する。
	・建設部長および安全衛生推進部長は、施工計画を変更する場合の安全・品質維持の重要性
	について、現場責任者に教育するとともに、施工計画を変更する場合は、作業着手前に
	発注者と協議することを徹底する。

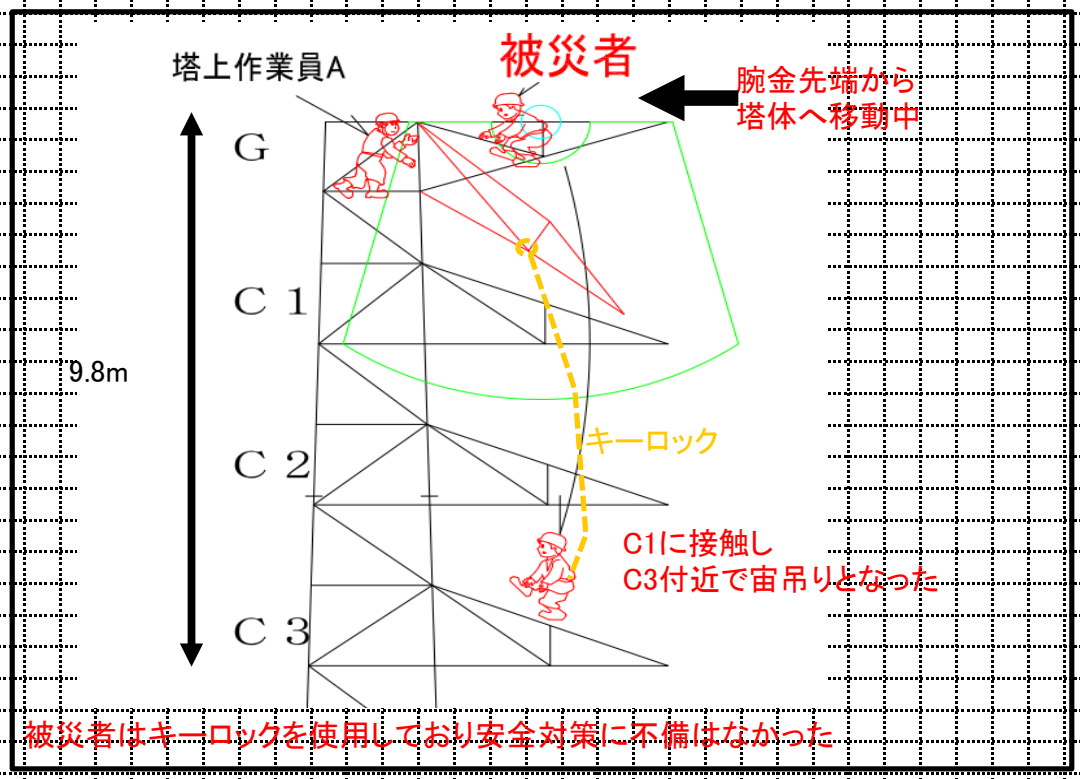
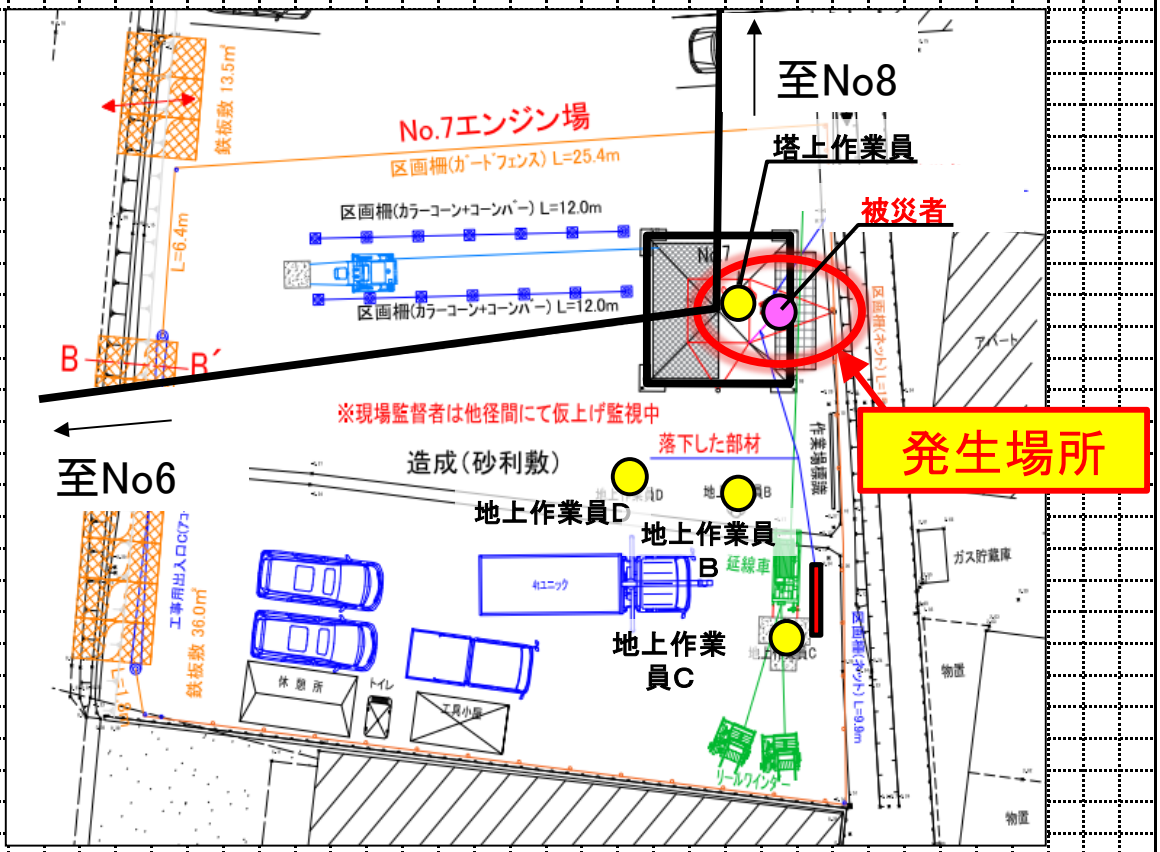
（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2(2)）

災　害　概　要　図

【墜落状況】



【平面図】